

## 【感染症予防等に関わる取組について】

○ 施設全般にわたって衛生面に気を付け、清潔に保つことが大切です。保育室やトイレ、手洗い場、靴箱周辺など、園児が普段使う場所はもちろんのこと、園児の動線を考え、園児がよく触りそうな箇所の掃除や除菌を行います。また、職員室の衛生管理の徹底も大切です。

○ なぜ、感染症予防が必要であるかを園児が理解できるようにするために、例えば、次のような説明の工夫を行います。

(例)

- ・ 園児にわかりやすい言葉で伝える。
- ・ 必要に応じて、繰り返し丁寧に説明する。
- ・ 実際の生活の場面を想定して伝える。
- ・ 手洗いについては、写真やイラストなど、視覚に訴え、その正しい方法についても理解できるようにする。
- ・ 園児と保育者とが一緒に考えたり、話し合ったりする中で、感染症予防を自分のこととして考えられるようにする。



○ 集団感染リスクを可能な限り低減するよう、遊具や用具、素材などを分散して設置したり、園全体で行っている行事等を実施の時間や参加の人数などの観点から見直したりすることなどが大切です。

○ これからどのようなことが起こるか予想がつかないことも考えられる中、命を守ることの重要さを子どもたちと一緒に学び、よりよい方法を模索して保育を展開していくという姿勢をもつことが大切です。